

はじめに

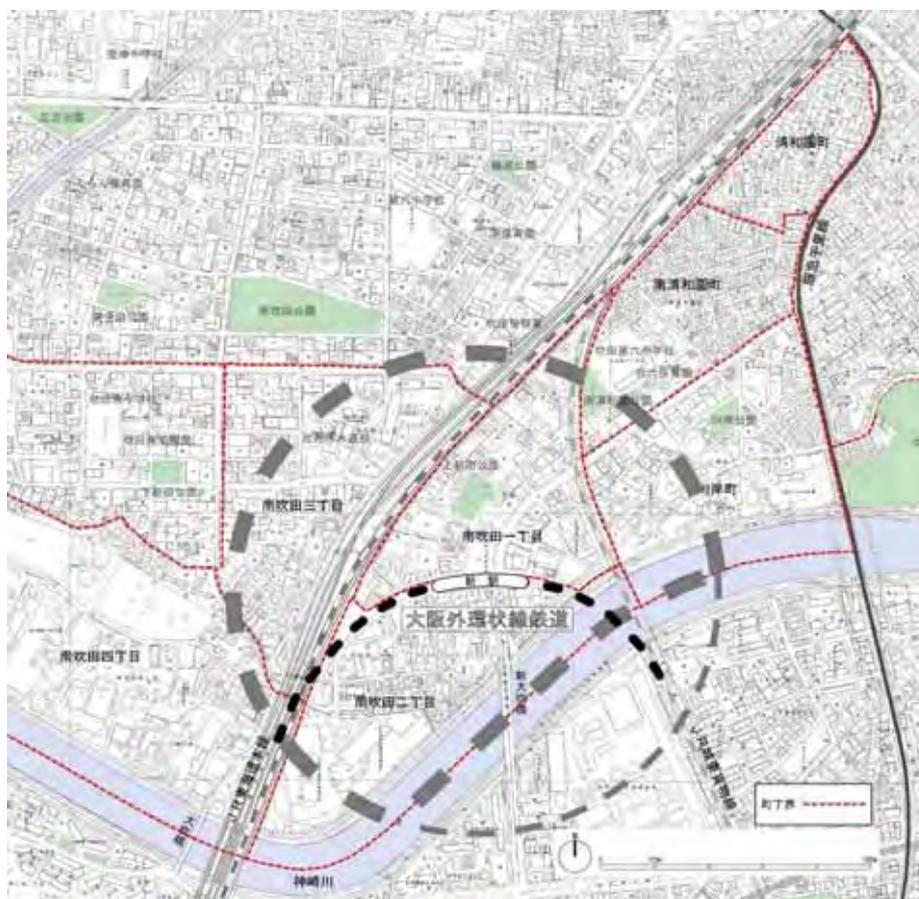
(1) 調査の目的

南吹田地域は、昭和 51 年（1976 年）に南吹田第 1 土地区画整理事業が完了して、おおむね 30 年が経過している。その間、南吹田一・二丁目を中心とした南吹田地域では、周辺道路網の未整備や大阪外環状線鉄道の進捗の遅れなどから、土地の有効・高度利用や都市機能の整備が進んでいない状況にあった。しかし、近年ようやく大阪外環状線鉄道の具体化・周辺の幹線道路整備など新たな市街化への動きがあらわれてきた。

本調査は、この機をとらえ、当地域が市南部の新たな地域拠点として、地域特性を生かした魅力的な都市環境の形成を図るため、地域の現況把握とアンケート調査などの意向調査を行い、調査区域のもつ特性を整理し、そこから今後のまちづくりを考える上での基本的な視点を導き出し、市民参加によるまちの方向性を検討するための課題の整理を行うものである。

(2) 調査区域の設定

調査区域は、大阪外環状線鉄道の新駅の位置を中心に概ね半径約 500m の区域とする。なお、アンケート調査や統計データなどを整理する調査対象範囲としては、自治会の範囲などを勘案し、南吹田一・二・三丁目、川岸町、南清和園町、清和園町を基本とする。



【調査区域周辺の航空写真】



(平成 17 年(2005 年) 5 月撮影)

(3) 調査の流れ

